

礼拝等について

1. 礼 拝

月曜日、水曜日、金曜日の昼休みに礼拝を行っています。礼拝時間は、12時10分～12時30分の20分間です。忙しい毎日の中で静まる時を持ち、さまざまな異なる価値観に出会い、物事をじっくり考える貴重な機会です。自分自身を超えるものへ思いを馳せ、生きる勇気や励ましを得る時として、この週3回の礼拝には折にふれて出席するようお勧めください。必修科目「キリスト教学」「キリスト教と現代社会」とも連動しているこれらの礼拝では、外部から招かれた信頼できるキリスト教牧師を通して、内容豊富なメッセージ（「説教」と呼ばれています）を聞くことができます。また、本学院理事長、学院長、学長、宗教総主事、宗教センター長、本学中学校・高等学校の宗教主事（いずれも、「学校法人宮城学院寄附行為細則」第4条に定められた福音主義のキリスト者）も、礼拝でメッセージを語ります。本学は、平和を追求し、共生社会の実現に貢献することを学ぶ教育プログラムとして礼拝を重視しています。これらの教育方針を、学生の皆様も保護者の皆様方もご理解下さるようお願い申し上げます。

なお、別冊『宮城学院礼拝ガイドブック』をぜひお読みください。

2. キリスト教教育特別集会

毎年6月、著名なキリスト者の学者や文化人などを招いて、講演会を開いています。生産性の名のもとに人が切り捨てられる経済至上主義の論理とは異なる考え方を学ぶために、この教育プログラムは全学協力体制で行われ、毎年多くの学生が参加しています。

3. 関連の学生活動

礼拝堂内の宗教センターではYWCAの活動が展開されており、聖書の学びやイベント企画、読書会などに学生たちが意欲的に取り組んでいます。また、ハンドベルクワイア、聖歌隊なども学内外でのイベントにおいて音楽活動を行っています。どなたでも気軽にお立ち寄りください。

